超音波カッターの保有特許による海賊版の国内参入抑止と海外展開

重点支援レポート

企業概要

■社名：本多電子株式会社（愛知県）　https://www.honda-el.co.jp/

■従業員数：210人　■資本金：100百万円　■売上高：58億円

■事業内容：　超音波技術全般　　■知的財産：特実100件超、意匠23件、商標38件

超音波カッター

相談のきっかけ

超音波技術の新しい展開

魚群探知機などで高いシェアを有する超音波技術の専門企業である当社は、超音波技術の応用展開として開発したホビー用超音波カッターの展開を行っている。販売は、当社の新事業の販売会社として設立されたエコーテック株式会社が担当している。

海賊版の対策及び海外展開モデルの構築

国内特許を保有しているものの、ネット販売を通して国内にも入ってきている海外からの海賊版の対応をしたい。さらに、海外展開に当たって、法規制を加味した戦略を明確にしたい。

課題と支援の内容

課題	支援のポイントと活用した専門家	
輸出国におけるリスク管理	• 海外へ展開する上での輸出国の製品安全性や環境性能基準などの法的リスクの基礎知識や情報を入手する • 海外展開のためのリスク管理方針の決定とリスク管理体制を検討する。	JETRO 中小企業診断士
海外展開戦略	• 法的リスクをベースに中長期視点に立った最適輸出国・地域の選定を検討する。 • 経営資源（特に人材）の有効活用を図るための優先順位付けを行い、売上、収益を最大化するビジネスモデルの構築する。	JETRO 中小企業診断士
海賊版対策	• 海賊版の参入抑止のための水際阻止申請の手続きの理解向上と申請を支援する。 • 海賊版告知を行う際の不正競争防止法の営業誹謗行為に非該当のための留意点を検討する。	通関士 侵害対応専門家

リーダー：　三好康司（中小企業診断士）
支援担当者：　井上勝（愛知県知財総合支援窓口）

支援を通じてできたこと

項目	支援成果
海外展開戦略の明確化	• 市場性や法規制の観点から展開国の優先順位を決定し、事業計画のスケジュール化ができ、9か国9企業と販売代理店契約を締結した。
輸出先の法規制情報の入手	• 優先順位の高い国の法規制の概要が理解でき、販売展開国を決定でき、リスクの高い国への対応を引き続き行う方針を決定した。
海賊版対策	• 海賊版を扱っている大手のネットショップに特許権侵害通告することで海賊版の製品が抑止できた。 • HPに海賊版の存在を告知し、抑止効果を高めた。 • 水際阻止申請に関して、費用対効果を勘案して不申請とした。

社長の支援成果についてのコメント

特許権を活用して海賊版の参入を抑制でき、また、主たる輸出国への海外展開時のリスク回避の考え方の理解が高まり、販売展開国の優先順位の決定し、リスクの高い国への対応へ検討開始に繋がった。今後、新たな海外国への展開についても、今回の知見を活用しながら知財総合支援窓口と連携して進めていきたい。なお、今回得られた知見は我社の主たる事業の海外展開を行うにあたっても大変貴重な財産になった。